【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成31年1月17日(2019.1.17)

【公開番号】特開2017-103576(P2017-103576A)
【公開日】平成29年6月8日(2017.6.8)
【年通号数】公開・登録公報2017-021
【出願番号】特願2015-234510(P2015-234510)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/225　D
Ｈ０４Ｎ　5/225　C

【手続補正書】
【提出日】平成30年11月29日(2018.11.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
それぞれが被写体の光学像を形成する複数の結像光学系と、
それぞれが前記複数の結像光学系に対応して設けられ、前記被写体の光学像を光電変換する複数の撮像素子と、
を有し、
前記複数の結像光学系のうち最も画角が広い第１結像光学系に対応する前記複数の撮像素子のうちの第１撮像素子の第１撮像領域における前記第１結像光学系の最大画角に対する水平画角の比率よりも、前記複数の結像光学系のうち前記第１結像光学系よりも狭い画角を有する第２結像光学系に対応する前記複数の撮像素子のうちの第２撮像素子の第２撮像領域における前記第２結像光学系の最大画角に対する水平画角の比率の方が大きく、
前記第１撮像領域における前記第１結像光学系の最大画角に対する垂直画角の比率よりも、前記第２撮像領域における前記第２結像光学系の最大画角に対する垂直画角の比率の方が大きいことを特徴とする撮像装置。
【請求項２】
前記第１撮像素子から得られる画像の一部に、前記第２撮像素子から得られる画像を合成し、前記一部の解像度がその他の部分の解像度に比べて高い中間画角の画像を生成する中間画角画像生成手段を有することを特徴とする請求項１に記載の撮像装置。
【請求項３】
前記中間画角の画像の外形形状と、前記第２撮像領域内であって前記第２結像光学系のイメージサークル内である全ての領域の外形形状と、は異なることを特徴とする請求項２に記載の撮像装置。
【請求項４】
前記第２撮像領域の面積は、前記第２結像光学系のイメージサークルに内接する前記第１撮像領域の外形形状と相似な領域の面積よりも大きいことを特徴とする請求項１乃至３のうちいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項５】
前記第２撮像領域は、前記第２結像光学系のイメージサークルに一致することを特徴とする請求項１乃至４のうちいずれか１項に記載の撮像装置。

【請求項６】
前記第２撮像領域の外形形状は矩形であることを特徴とする請求項１乃至５のいずれか一項に記載の撮像装置。
【請求項７】
前記第２撮像領域は、前記第２結像光学系のイメージサークルの接線となる辺を含み、かつ、前記第２撮像領域の一部は前記第２結像光学系のイメージサークルの外部であることを特徴とする請求項６に記載の撮像装置。
【請求項８】
前記複数の結像光学系は、同一の画角を有する結像光学系を含むことを特徴とする請求項１乃至７のうちいずれか１項に記載の撮像装置。